

各種検体の採取方法

●クラミジアトラコマチス、淋菌核酸同定〔リアルタイムPCR〕の採取説明

子宮頸管ぬぐい液の採取方法



子宮頸部の粘液除去

スワブ検体採取セット付属の粘液除去用ドライスワブで子宮頸管とその周辺の過剰な粘液を充分拭い取ります。

注) 粘液を拭ったスワブは廃棄します。



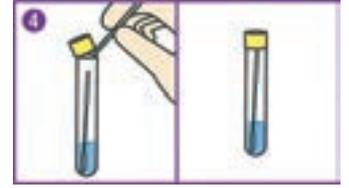
子宮頸管検体の採取

付属されている検体採取用フロックスワブを子宮頸管内に挿入します。同じ方向にそっと5回スワブを回します。(まわし過ぎないで下さい。) スワブを引き抜く際は膣の粘膜に触れないように注意して下さい。



子宮頸管検体の保存

コバスPCRメディアのキャップを開けます。採取したフロックスワブをコバスPCRメディアチューブに入れ、柄に付けられた黒い線を容器の縁に合わせます。



コバスPCRメディアの容器の縁を利用して、キャップで黒い線をはさむようにして折ります。コバスPCRメディアのキャップをしっかりと閉めます。

注) 手元に残った折られた柄は廃棄して下さい。スワブの柄を折る際は絶対にはさみを使用しないで下さい。

初尿検体の採取方法

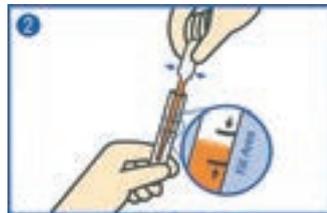
※採尿容器・滅菌スポイドは医療機関様でご用意下さい



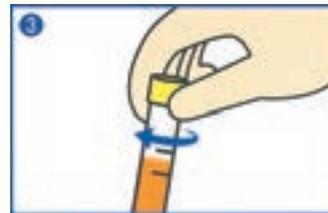
尿検体の採取

滅菌済み容器に初尿を採取します。滅菌済みスポイドを用いて、初尿をコバスPCRメディアに移します。

注) 初尿は採取後2～30℃で24時間以内にPCRメディアに移して下さい。

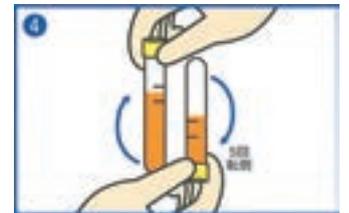


コバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように初尿を加えて下さい。



尿検体の保存

コバスPCRメディアの蓋をしっかりと閉めて下さい。



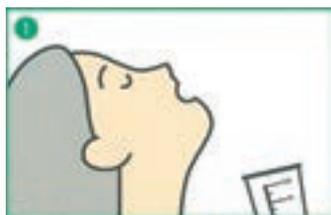
コバスPCRメディアを5回転倒混和させて下さい。

- ・女性の尿を採取する前は消毒しないで下さい
- ・月経中の患者からは尿検体を採取しないで下さい
- ・最後の排尿から少なくとも1時間以上経過していることを確認して下さい

各種検体の採取方法

うがい液検体の採取方法

※生理食塩水・うがい用コップ・滅菌スポイドは医療機関様でご用意下さい



うがいの仕方

生理食塩水（日局方など）をコップに15～20mL入れて下さい。生理食塩水15～20mLを口に含み、顔を上に向けて10～20秒間、勢いよく“ガラガラ”とうがいを行ないます。

注) 口に含んで吐き出した液とうがい用容器に残した液を合わせて“うがい液”とします。



検体輸送液への懸濁

“うがい液”全量をうがい用容器に回収し、スポイトでコバスPCRメディア（尿・うがい用）に必要量添加します。

注) “うがい液”はコバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように加えて下さい。



検体容器の保管

コバスPCRメディアの蓋をしっかりと閉めて下さい。
コバスPCRメディアを5回転倒混和させて下さい。

・検体採取前の食事・うがい・歯磨き・ガムを噛むことなどは避けて下さい。